

令和5年度 久御山町立こども園経営計画及び評価シート

久御山町立さやまこども園 園長 伊藤 眞美

こども園の現状		保育・教育目標	経営方針				
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもらしく素直で人懐っこい子どもが多い。</li> <li>園児・保護者共に個別に支援が必要な様子も見られるため、子育てカウンセリングや関係機関と連携を図りながら支援の方法を考え、子どもたちの育ちを支える取組をすすめている。</li> <li>外国籍の子どもの入園が増えてきている。</li> </ul>		健康でたくましく心豊かな子どもに育てる ①仲良く元気に遊ぶ子ども ②素直で思いやりのある子ども ③自分で考え行動しようとする子ども ④自分の思いを豊かに表現しようとする子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の良さや可能性を伸ばす就学前教育の充実</li> <li>安心安全なこども園の運営</li> <li>久御山学園の基本方針に基づいた園小中学校との連携</li> <li>3園での保育観の共通化</li> <li>保育教諭の資質向上</li> </ul>				
こども園経営の重点		成果と課題					
乳児保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の発達に寄り添い、安心して過ごし、愛着関係・信頼感を育む。</li> <li>就学までに育てたい10の力の育成を目指す。</li> <li>家庭と連携を図り、規則正しい生活リズムと生活習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どもに寄り添い、安心して過ごせるようあたたかい保育を心がけた。</li> <li>環境構成については、個々の興味関心をしっかり見つめる中で、今、育てたいものは何なのかきちんと見極め、準備したり、計画立てて見通しをもった保育をしていかなければならない。</li> <li>規則正しい生活リズムや生活習慣を身につけられるよう、家庭とも連携しながら保育しているが、なかなか難しさも感じられる。園全体としても課題である。</li> </ul>					
幼児保育・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>生きる力の基礎を育む保育・教育を推進する。</li> <li>就学までに育てたい10の力の育成を目指す。</li> <li>保護者との連携の中で、子どもの発達や育ちを共に考える。</li> <li>小学校との連携・交流を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、マスクを外した元気な子ども達の声が園内に響き渡り、久しぶりに子ども本来の元気な姿を見られたように思う。色々な行事もみんなで集まって祝ったり、楽しさを共有することができた。</li> <li>クラス数も多く、保育者がお互いに気を遣いすぎて、遠慮がちになって保育しているようにも思う。もっと子どもを真ん中に置いて、みんなで一人一人の子どもが自己発揮して過ごせるように環境構成など互いに意見を出し合って考えていかなければならない。</li> </ul>					
評価領域	重点目標(観点別)		具体的方策		評価		
健康	明るく伸び伸びと行動をし充実感を味わい、健康で安全な生活に必要な習慣を身につける。		子どもの思いやペースを尊重した丁寧な関わりを通して、健康・安全な生活に必要な習慣を身につけられるようにしていく。		3	4	4
人間関係	身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を育む。		子ども一人一人をありのまま受け入れ、信頼関係を築く中で安心して過ごせるようにする。		3	3	5
環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々なものに興味や関心をもつことにより豊かな心情や思考力を育む。		色々なものに興味・関心をもって見たり、触れたり、感じたりできるように一人一人の興味・関心をみつめ意図的・計画的に環境を構成する。		3	3	3
言葉	思ったことや考えたことを自分なりの言葉で話そうとしたり、相手の思いや考えにも耳を傾ける意欲や態度を育む。		心が動かされるような経験を通して、言葉を使って表現する意欲や相手の話を聞こうとする態度を育て、人へ伝える喜びを感じられるようにする。		3	4	4
表現	感じたり、考えたことを自分なりに表現する力を培う。		保育者自身が柔軟な姿勢で子ども一人一人と接し、豊かな感性をもつ。		3	3	5
年間評価	1学期		2学期		3学期		
	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症となり、マスク生活や色々な制限が徐々に緩和され、園生活も活気にあふれ、本来の子ども達の元気な姿が見られた。		こども園になって初めて全園児で運動会を実施した。各学年開催の方が見やすくて良かったという意見もあったが、多くの保護者から他学年の様子が楽しく見られて良かったという意見をいただいた。		乳児クラスの参観や幼児クラスの生活発表会を通して、子ども達の成長を感じた。保護者も大変喜んでおられた。		